





地域の実情に即した幼小連携・接続の取組について

管内・市町村	渡島管内 森町（森地区）
取組事項（テーマ）	小学校で遊ぼう
地域の実情と取組のねらい	<p>森町森地区には、公立幼稚園が1園と公立保育所等があり、それぞれの園等に在園する園児が小学校に進学している。幼小の連携では、交流を実施し、小学校の生活に触れ、小学校の生活へ期待をもつことをねらいとする。</p>
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の楽しさを経験することを目的に、小学校において第1学年児童とゲームをしたり、一緒に給食を食べたりする交流を実施した。 ・園児の入学後の実態に応じて、1年生と学校の図書館で本を読む活動や、校内探検をしながら各学年の授業風景を見学する活動を実施し、園児が小学校に興味をもつことができるよう工夫した。 <div data-bbox="959 629 1426 976" style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">【図書館は楽しいよ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園児が第2学年で実施している生活科フェスティバルに参加し、1年生と一緒に、いろいろな店を回るなど、学校での活動を楽しみながら体験するようにした。 ・生活科フェスティバルでは、店を回る時に、園児がどの店を回ったのか分かるようカードを作り、それぞれの店を担当する児童が、園児に声を掛けながらスタンプを押すなど、園児が楽しく活動することができるような工夫をしていた。
成果・課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校での活動を経験することで、校内のいろいろな場所を知ったり、雰囲気を感じたりすることができており、園児の小学校入学への期待や安心感につながっている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流する内容について、園児の入学後の実態に応じて、更に検討していく必要がある。






















地域の実情に即した幼小連携・接続の取組について

管内・市町村	渡島管内 森町（砂原地区）
取組事項（テーマ）	園児と児童の交流
地域の実情と取組のねらい	<p>森町砂原地区には幼小中が各1園1校ずつあり、多くの園児がそのまま小中学校へ進学している。幼小の連携では、行事の見学や5年生との交流を年2回実施し、年長児が学校生活への見通しや安心感をもって入学できることをねらいとする。</p>
取組内容	<p>地域の小学校第5学年児童が幼稚園に来園し、対面式で挨拶や体操をした後、グループに分かれてゲームコーナーを回る。幼稚園と小学校の教員が園児と児童の実態に応じて、グループ構成に配慮して、互いに親しみがもてるように、グループ写真を教室に掲示するなどの工夫をした。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="507 792 930 1093" style="text-align: center;">  <p>【園庭で何して遊ぶ？】</p> </div> <div data-bbox="970 792 1409 1093" style="text-align: center;">  <p>【お別れのハイタッチ】</p> </div> </div> <p>また、年長児が小学校において、5年生と学校探検や出店、体育館でのゲームなどを行って一緒に遊ぶ体験を実施した。</p> <p>これまでのグループでの交流を生かし、安心感や親しみをもって関わりを楽しめるように配慮した。</p> <div style="text-align: center;">  <p>【体育館でジャンケン列車】</p> </div>
成果・課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 園児は、小学校生活に親しみや期待を寄せたり、自分の近い将来を見通したりすることができるようになり、入学式の時に安心して学校生活を過ごす姿が見られている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童が今後も相手意識を高め、園児に伝わるような言葉遣いや関わりを工夫したり、自分の成長に気付いたりすることができるよう、活動の充実を図る必要がある。

地域の実情に即した幼小連携・接続の取組について

管内・市町村	渡島管内 知内町
取組事項（テーマ）	幼・保・小の連携・接続
地域の実情と取組のねらい	<p>知内町内には公立幼稚園と私立保育園の2園があり、両園の園児等が町内の小学校に入学する。そこで、以下の2点を幼小連携のねらいとして、各学校、園において共有した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達の発達の連続性を保障するため、幼小連携を組織的・計画的に行う。 ・幼児期教育から児童期の教育へ円滑な移行を目指す。
取組内容	<p>【学校と園等が連携した取組】</p> <p>6月 幼・保・小連携会議（卒園した園児、次年度入学する園児等の情報交換）</p> <p>7～9月 小学校教員による園訪問①（園児の実態把握）</p> <p>11月 小学校教員による園訪問②（園児の実態把握）</p> <p>12月 園児による学校訪問①（「知小フェスティバル」に参加）</p> <p>1月 小学校教員による園訪問③（小学校の先生による園児を対象とした授業）</p> <p>2月 園児による学校訪問②（学校探検・1年生との交流）</p> <p>3月 就学する園児の情報交流会（指導要録引継ぎ）</p>
成果・課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月の会議で、卒園した園児の様子や次年度入学する園児の様子を交流することができている。 ・小学生と交流していることで、安心感や期待をもって、園児が小学校生活を送ることができている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園と小学校でより連携を深める必要があるため、実施回数については、検討が必要である。

地域の実情に即した幼小連携・接続の取組について

管内・市町村	渡島管内 長万部町																																																																																																																																												
取組事項（テーマ）	4月末に「学校が楽しい！」と答える子100%の達成を目指して																																																																																																																																												
地域の実情と取組のねらい	長万部町立長万部小学校に入学した子どもが、幼稚園及び保育所等で体験した遊びや生活を通じた遊びと育ちを基盤として、学校生活に適応するとともに、主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を創り出すことをねらいとする。																																																																																																																																												
取組内容	<p>長万部小学校では、概ね5月の大型連休の前までの4週間をスタートカリキュラムの実施期間と定め、15分のモジュールを単位とした合科的・関連的指導の充実に努めている。</p> <p> わくわくたいむ・・・一人一人が安心感をもち、新しい人間関係を築いていくことをねらいとした学習</p> <p> どきどきたいむ・・・合科的・関連的な指導による生活科を中心とした学習</p> <p> きらきらいむ・・・教科等を中心とした学習</p> <table border="1" data-bbox="464 913 1029 1653"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>単元名</th> <th>小単元名</th> <th>モジュール</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6"></td> <td rowspan="2">なかよく なるうね</td> <td>いっしょに あそぼう</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>みんなで うたおう、からだを うごかそう</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">たのしく きこう ただしく かこう</td> <td>えをかこう ねんどであそぼう</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>おはなし たくさん ききたいな</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>えほんの よみきかせ</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>しりとりで あそぼう</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td rowspan="12"></td> <td rowspan="6">どきどき わくわく 1ねんせい</td> <td>ひらがな</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>ロッカーや つくえの つかいかた</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>トイレの つかいかた</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>げんかん、かざたての つかいかた</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>げんきに あいさつ</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>かえりの じゅんび</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">がっこう だいすき</td> <td>あさの じかんの すごしかた</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>わたしの なまえ</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>よろしくね</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>きゅうしよくが はじまるよ</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>ともだちと がっこうを たんけんしよう(1)</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>がっこうに いる ひとと なかよく なるう</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">すすめ わくわく たんけんたい</td> <td>たんけんの まとめ</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>ともだちと がっこうを たんけんしよう(2)</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>みんなで つうがくるを あるこう</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>こういでい あそぼう</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">なかよし いっぱい</td> <td>1ねんせいを むかえるかいに むけて</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>がっこうで みつけた ことを つたえよう</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td rowspan="3"></td> <td>くらべた ことが あるかな</td> <td rowspan="3">1コマ</td> </tr> <tr> <td>おおいのは どちらかな</td> </tr> <tr> <td>なかまづくりと かず</td> <td>11コマ</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">「単元の構成」</p> <table border="1" data-bbox="1038 913 1444 1697"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="4">4月 / 5月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1時間目</td> <td> わくわくたいむ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2時間目</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3時間目</td> <td></td> <td></td> <td> どきどきたいむ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4時間目</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td> きらきらいむ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">「活動形態の移行イメージ」</p> <table border="1" data-bbox="1038 1227 1444 1697"> <thead> <tr> <th>9日</th> <th>10日</th> <th>11日</th> <th>12日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>か 火</td> <td>すい 水</td> <td>もく 木</td> <td>きん 金</td> </tr> <tr> <td>たんけんじかん 短縮2時間授業 びじょう 下校指導</td> <td>じかん短縮 2時間授業 びじょう 下校指導 家庭学習強固週間開始</td> <td>じかん短縮 3時間授業 びじょう 下校指導 はいやく 2日割</td> <td>じかん短縮 4時間授業 びじょう 朝食スタート びじょう 学校授業</td> </tr> <tr> <td>どきどきたいむ</td> <td>どきどきたいむ</td> <td>わくわくたいむ どきどきたいむ</td> <td>わくわくたいむ どきどきたいむ</td> </tr> <tr> <td>あさのたく どいしのみほ のつかいかた</td> <td>あさのたく あきつつかた あきつつかた</td> <td>あきつつかた じこようかいをしよう</td> <td>あきつつかた じこようかいをしよう</td> </tr> <tr> <td>どきどきたいむ</td> <td>わくわくたいむ</td> <td>2けいそく</td> <td>どきどきたいむ</td> </tr> <tr> <td>げんかんのつかいかた かえりのたく</td> <td>じこようかいをしよう</td> <td>しんちよう・たいじゆう をはります ※半そで・履パム</td> <td>がっこうたんけんを ししよう</td> </tr> <tr> <td></td> <td>わくわくたいむ どきどきたいむ</td> <td>わくわくたいむ どきどきたいむ</td> <td>わくわくたいむ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>よみきかせししよう かえりのたく</td> <td>よみきかせししよう かえりのたく</td> <td>よみきかせししよう すきなえをかこう</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>どきどきたいむ</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>きゅうしよくのじゅんび をししよう</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">「4月第1週目の時間割※一部」</p>	分類	単元名	小単元名	モジュール		なかよく なるうね	いっしょに あそぼう	24	みんなで うたおう、からだを うごかそう	9	たのしく きこう ただしく かこう	えをかこう ねんどであそぼう	11	おはなし たくさん ききたいな	4	えほんの よみきかせ	8	しりとりで あそぼう	3		どきどき わくわく 1ねんせい	ひらがな	24	ロッカーや つくえの つかいかた	4	トイレの つかいかた	4	げんかん、かざたての つかいかた	2	げんきに あいさつ	4	かえりの じゅんび	4	がっこう だいすき	あさの じかんの すごしかた	3	わたしの なまえ	3	よろしくね	3	きゅうしよくが はじまるよ	12	ともだちと がっこうを たんけんしよう(1)	6	がっこうに いる ひとと なかよく なるう	3	すすめ わくわく たんけんたい	たんけんの まとめ	3	ともだちと がっこうを たんけんしよう(2)	16	みんなで つうがくるを あるこう	4	こういでい あそぼう	10	なかよし いっぱい	1ねんせいを むかえるかいに むけて	15	がっこうで みつけた ことを つたえよう	10		くらべた ことが あるかな	1コマ	おおいのは どちらかな	なかまづくりと かず	11コマ			4月 / 5月				1時間目	 わくわくたいむ					2時間目						3時間目			 どきどきたいむ			4時間目				 きらきらいむ		9日	10日	11日	12日	か 火	すい 水	もく 木	きん 金	たんけんじかん 短縮2時間授業 びじょう 下校指導	じかん短縮 2時間授業 びじょう 下校指導 家庭学習強固週間開始	じかん短縮 3時間授業 びじょう 下校指導 はいやく 2日割	じかん短縮 4時間授業 びじょう 朝食スタート びじょう 学校授業	どきどきたいむ	どきどきたいむ	わくわくたいむ どきどきたいむ	わくわくたいむ どきどきたいむ	あさのたく どいしのみほ のつかいかた	あさのたく あきつつかた あきつつかた	あきつつかた じこようかいをしよう	あきつつかた じこようかいをしよう	どきどきたいむ	わくわくたいむ	2けいそく	どきどきたいむ	げんかんのつかいかた かえりのたく	じこようかいをしよう	しんちよう・たいじゆう をはります ※半そで・履パム	がっこうたんけんを ししよう		わくわくたいむ どきどきたいむ	わくわくたいむ どきどきたいむ	わくわくたいむ		よみきかせししよう かえりのたく	よみきかせししよう かえりのたく	よみきかせししよう すきなえをかこう				どきどきたいむ				きゅうしよくのじゅんび をししよう
分類	単元名	小単元名	モジュール																																																																																																																																										
	なかよく なるうね	いっしょに あそぼう	24																																																																																																																																										
		みんなで うたおう、からだを うごかそう	9																																																																																																																																										
	たのしく きこう ただしく かこう	えをかこう ねんどであそぼう	11																																																																																																																																										
		おはなし たくさん ききたいな	4																																																																																																																																										
		えほんの よみきかせ	8																																																																																																																																										
		しりとりで あそぼう	3																																																																																																																																										
	どきどき わくわく 1ねんせい	ひらがな	24																																																																																																																																										
		ロッカーや つくえの つかいかた	4																																																																																																																																										
		トイレの つかいかた	4																																																																																																																																										
		げんかん、かざたての つかいかた	2																																																																																																																																										
		げんきに あいさつ	4																																																																																																																																										
		かえりの じゅんび	4																																																																																																																																										
	がっこう だいすき	あさの じかんの すごしかた	3																																																																																																																																										
		わたしの なまえ	3																																																																																																																																										
		よろしくね	3																																																																																																																																										
		きゅうしよくが はじまるよ	12																																																																																																																																										
		ともだちと がっこうを たんけんしよう(1)	6																																																																																																																																										
		がっこうに いる ひとと なかよく なるう	3																																																																																																																																										
すすめ わくわく たんけんたい	たんけんの まとめ	3																																																																																																																																											
	ともだちと がっこうを たんけんしよう(2)	16																																																																																																																																											
	みんなで つうがくるを あるこう	4																																																																																																																																											
	こういでい あそぼう	10																																																																																																																																											
なかよし いっぱい	1ねんせいを むかえるかいに むけて	15																																																																																																																																											
	がっこうで みつけた ことを つたえよう	10																																																																																																																																											
	くらべた ことが あるかな	1コマ																																																																																																																																											
	おおいのは どちらかな																																																																																																																																												
	なかまづくりと かず		11コマ																																																																																																																																										
		4月 / 5月																																																																																																																																											
1時間目	 わくわくたいむ																																																																																																																																												
2時間目																																																																																																																																													
3時間目			 どきどきたいむ																																																																																																																																										
4時間目				 きらきらいむ																																																																																																																																									
9日	10日	11日	12日																																																																																																																																										
か 火	すい 水	もく 木	きん 金																																																																																																																																										
たんけんじかん 短縮2時間授業 びじょう 下校指導	じかん短縮 2時間授業 びじょう 下校指導 家庭学習強固週間開始	じかん短縮 3時間授業 びじょう 下校指導 はいやく 2日割	じかん短縮 4時間授業 びじょう 朝食スタート びじょう 学校授業																																																																																																																																										
どきどきたいむ	どきどきたいむ	わくわくたいむ どきどきたいむ	わくわくたいむ どきどきたいむ																																																																																																																																										
あさのたく どいしのみほ のつかいかた	あさのたく あきつつかた あきつつかた	あきつつかた じこようかいをしよう	あきつつかた じこようかいをしよう																																																																																																																																										
どきどきたいむ	わくわくたいむ	2けいそく	どきどきたいむ																																																																																																																																										
げんかんのつかいかた かえりのたく	じこようかいをしよう	しんちよう・たいじゆう をはります ※半そで・履パム	がっこうたんけんを ししよう																																																																																																																																										
	わくわくたいむ どきどきたいむ	わくわくたいむ どきどきたいむ	わくわくたいむ																																																																																																																																										
	よみきかせししよう かえりのたく	よみきかせししよう かえりのたく	よみきかせししよう すきなえをかこう																																																																																																																																										
			どきどきたいむ																																																																																																																																										
			きゅうしよくのじゅんび をししよう																																																																																																																																										
成果・課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 6月に行った「学校生活アンケート」では、「学校は楽しいですか」の設問に「楽しい」と答えた児童が100%であった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 4月の授業時数が年度によって異なるため、特定の教科に偏らないように授業計画を立てるなど、時間割作成が複雑になることが課題である。 																																																																																																																																												

地域の実情に即した幼小連携・接続の取組について

管内・市町村	檜山管内 奥尻町
取組事項（テーマ）	幼小連携研修会の開催
地域の実情と取組のねらい	奥尻町（町立幼稚園2園）では、「発達の段階に応じた幼児理解と児童理解が充実すること」と「幼稚園と小学校が一貫性のある教育を展開すること」を取組のねらいとして、計画的に幼小連携研修会を実施している。
取組内容	<p>平成30年度から、教育局指導主事による学校訪問や幼稚園や学校における校内（園内）研修の場に幼稚園と小学校の教員が同席する取組や保育参観・授業参観を継続的に行ってきた。</p> <p>このことによって、互いの教育活動について理解を深めるとともに、幼稚園が行っている幼児の自発的な活動としての遊びを踏まえて、小学校が各教科等における学習が行われるなど、円滑な接続が図られてきている。</p> <p>また、小学校の教員も「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」について正しく理解し、小学校入学後の子どもが、幼稚園での遊びや生活を通じた学びと育ちを基礎として、主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を創り出していくことができるよう幼小連携研修会を実施した。</p> <p>これらの取組を通じて、幼稚園教員は、第1学年児童の成長の様子を実感するとともに、幼稚園での学びと育ちが小学校での指導にどのようにつながっているかを確認し、幼稚園で行う援助に生かしている。</p> <p>また、小学校教員は、第1学年児童が、幼稚園での学びや育ちを踏まえて小学校で成長していくことから、研修の成果等を活用し、スタートカリキュラムの改善・充実に取り組んでいる。</p>
成果・課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園と小学校が、幼小連携研修会等の互いの教育活動について理解を深める交流の場を計画的に設定したことで、幼稚園、小学校それぞれの教育活動の充実が図られてきている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校教員が「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」について、理解を一層深めるために、今後も、小学校教員が保育参観を行うなど、援助の実際を学ぶ機会を設ける必要がある。



【幼小連携研修会の研究協議】

地域の実情に即した幼小連携・接続の取組について

管内・市町村	檜山管内 江差町																																								
取組事項（テーマ）	「江差町子ども理解シート『はぐくみ』」を活用した幼小間の引継ぎ																																								
地域の実情と取組のねらい	江差町（私立認定こども園1園、町立保育所3園）では、認定こども園、保育所と小学校の引継ぎが同じ視点で行われるよう、「江差町子ども理解シート『はぐくみ』」を作成し、全ての幼児教育施設で活用している。																																								
取組内容	<p>かつては、各幼児教育施設において、独自の様式で子どもの育ちや保育の内容等を記録し、小学校との引継ぎに活用していたが、幼児教育施設で幼児一人一人の実態に基づいて行われてきた指導や支援が、小学校入学当初からも適切に行われるように、平成29年度に「江差町子ども理解シート『はぐくみ』」を作成し、平成30年度から町内全ての幼児教育施設において活用を始めている。</p> <p>作成に当たっては、町の健康推進課、町民福祉課、町教育委員会の指導主事及び幼児教育施設の代表に加えて、北海道発達障害者支援センター「あおいそら」の職員、渡島圏域障がい者総合相談支援センター「めい」の職員がアドバイザーとして参加した。</p> <p>年度の終わりには作成メンバーが集まり、幼児教育施設や小学校から「江差町子ども理解シート『はぐくみ』」の充実に向けて意見を聞き、改善に努めている。</p> <p>「江差町子ども理解シート『はぐくみ』」に記入する観点は、「生活（身の回りのこと）」、「人とのかかわり」、「からだの動き」、「ことば」とし、幼小間の引継ぎの際には、この4点に基づいて行っている。</p> <p>また、「江差町子ども理解シート『はぐくみ』」は、幼児教育施設の転出時にも活用し、他の園等においても継続した指導や支援が行われるようにしている。</p>																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">育ちの項目</th> <th>4～7月 (R . . .)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">食 事</td> <td>箸を使って食べる</td> <td></td> </tr> <tr> <td>食事内容に合わせて道具を使い分けて食べる</td> <td></td> </tr> <tr> <td>食器に手を添えて食べる</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1人でご飯を食べる</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">生 活 (身 の 回 り の こ と)</td> <td>偏食がない</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1人で外出の支度ができる</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">衣 服 の 着 脱</td> <td>ボタンをかける</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ファスナーを開める</td> <td></td> </tr> <tr> <td>服の裏返しを直す</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">排 泄</td> <td>服の前後がわかる</td> <td></td> </tr> <tr> <td>トイレで排便する</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">清 潔</td> <td>排泄の後始末をする</td> <td></td> </tr> <tr> <td>口元が汚れたら拭く</td> <td></td> </tr> <tr> <td>体をタオルで拭く</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>自分で気づいて鼻をかむ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>令和2年度「江差町子ども理解シート『はぐくみ』」5歳児用の一部</p>	育ちの項目		4～7月 (R . . .)	食 事	箸を使って食べる		食事内容に合わせて道具を使い分けて食べる		食器に手を添えて食べる		1人でご飯を食べる		生 活 (身 の 回 り の こ と)	偏食がない		1人で外出の支度ができる		衣 服 の 着 脱	ボタンをかける		ファスナーを開める		服の裏返しを直す		排 泄	服の前後がわかる		トイレで排便する		清 潔	排泄の後始末をする		口元が汚れたら拭く		体をタオルで拭く				自分で気づいて鼻をかむ	
育ちの項目		4～7月 (R . . .)																																							
食 事	箸を使って食べる																																								
	食事内容に合わせて道具を使い分けて食べる																																								
	食器に手を添えて食べる																																								
	1人でご飯を食べる																																								
生 活 (身 の 回 り の こ と)	偏食がない																																								
	1人で外出の支度ができる																																								
	衣 服 の 着 脱	ボタンをかける																																							
		ファスナーを開める																																							
		服の裏返しを直す																																							
排 泄	服の前後がわかる																																								
	トイレで排便する																																								
清 潔	排泄の後始末をする																																								
	口元が汚れたら拭く																																								
	体をタオルで拭く																																								
		自分で気づいて鼻をかむ																																							
成果・課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 町内の全ての幼児教育施設が「江差町子ども理解シート『はぐくみ』」を活用し引継ぎを行ったことで、全ての子どもに小学校入学当初から適切な指導や支援が行われ、安心して登校できるようになった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの引継ぎが円滑にもれなく行われるよう、本シートの活用方法等について改善していく必要がある。 																																								

地域の実情に即した幼小連携・接続の取組について

管内・市町村	檜山管内 せたな町															
取組事項（テーマ）	幼小合同でのスタートカリキュラムの作成															
地域の実情と取組のねらい	<p>せたな町（公立認定こども園1園、町立保育所1園）では、幼児期の遊びを通じた学びが、小学校の入学当初において各教科等の学習に円滑に接続されることを取組のねらいとして、児童や学校、地域の実情を踏まえてスタートカリキュラムを編成している。</p>															
取組内容	<p>せたな町では、町内全ての子どもが小学校入学後も安心して学校生活を過ごすことができるよう、幼児教育施設と小学校が連携してスタートカリキュラムを作成している。</p> <p>幼児期に自発的な活動としての遊びを通して育まれてきたことが、小学校入学当初に各教科等の学習に円滑に接続されるよう、①「一人一人が安心感を持ち、新しい人間関係を築いていくことをねらいとした学習」、②「合科的・関連的な指導による生活科を中心とした学習」、③「教科等を中心とした学習」の3つの視点から指導の工夫や指導計画の作成を行っている。</p> <p>また、スタートカリキュラムの充実に向けて、年間を通じて1か月に1回のペースで、幼児教育施設と小学校の子どもが合同で交流する機会を設けたり、教員が互いの教育活動について理解を深める場を設定している。</p>															
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>6日目</th> <th>7日目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>朝学習</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">6年生の時間</td> </tr> <tr> <td>朝の会</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">朝の会</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td style="background-color: #f0e6ff;"> ① 「なかよく遊ぼう」 ・声を合わせて歌おう。 ・お話を聞こう。 <div style="text-align: center; margin-top: 5px;"> 音楽 国語 </div> </td> <td style="background-color: #f0e6ff;"> ① 「なかよく遊ぼう」 ・声を合わせて歌おう。 ・お話を聞こう。 <div style="text-align: center; margin-top: 5px;"> 音楽 国語 </div> </td> </tr> <tr> <td>2</td> <td style="background-color: #e6ffe6;"> ② 生活 「わくわく探検隊」 ・学校の中で、興味をもった所に何があるか探検する。 ・行った所に何があったかカードに書く。 ・カードに書いたことを話してみる。 </td> <td style="background-color: #ffffe6;"> ③ 特活 健康診断 </td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;"> 【入学後2週目のスタートカリキュラム】 ・生活科の中で合科的・関連的な指導が行えるよう指導計画を工夫している。 </p>		6日目	7日目	朝学習	6年生の時間		朝の会	朝の会		1	① 「なかよく遊ぼう」 ・声を合わせて歌おう。 ・お話を聞こう。 <div style="text-align: center; margin-top: 5px;"> 音楽 国語 </div>	① 「なかよく遊ぼう」 ・声を合わせて歌おう。 ・お話を聞こう。 <div style="text-align: center; margin-top: 5px;"> 音楽 国語 </div>	2	② 生活 「わくわく探検隊」 ・学校の中で、興味をもった所に何があるか探検する。 ・行った所に何があったかカードに書く。 ・カードに書いたことを話してみる。	③ 特活 健康診断
	6日目	7日目														
朝学習	6年生の時間															
朝の会	朝の会															
1	① 「なかよく遊ぼう」 ・声を合わせて歌おう。 ・お話を聞こう。 <div style="text-align: center; margin-top: 5px;"> 音楽 国語 </div>	① 「なかよく遊ぼう」 ・声を合わせて歌おう。 ・お話を聞こう。 <div style="text-align: center; margin-top: 5px;"> 音楽 国語 </div>														
2	② 生活 「わくわく探検隊」 ・学校の中で、興味をもった所に何があるか探検する。 ・行った所に何があったかカードに書く。 ・カードに書いたことを話してみる。	③ 特活 健康診断														
成果・課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼小合同でスタートカリキュラムを作成したことで、入学当初から、子どもが小学校の新たな環境に戸惑うことなく、安心して過ごすことができ、落ち着いて各教科等の学習に取り組むことができるようになった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後、小学校教員が「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」について、理解を一層深めることができるよう、幼児教育施設と小学校の合同の研修の場を設ける必要がある。 															

地域の実情に即した幼小連携・接続の取組について

管内・市町村	上川管内 美深町
取組事項（テーマ）	幼児・児童一人一人に応じた指導の充実を図る取組
地域の実情と取組のねらい	町に1小学校、1幼児教育施設であるため、一人一人の幼児に応じた円滑な接続を図ることをねらいとする。
取組内容	<p>年間2回（5月、2月）、参観交流及び幼小連携会議を開催する。参観交流は小学校と幼児教育施設が隔年で交代して実施する。</p> <p><参観交流（幼児教育施設）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・参観交流の際には、参観者に対して保育を参観する際の視点を伝え、ねらいを共有する。 ・特に見てもらいたい幼児の様子を伝えるため、抽出幼児及び配慮が必要な幼児の実態を事前に伝えている。 <p><幼小連携会議></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼小連携会議では、参観交流した保育に基づき、幼児一人一人の状況について小学校教員と確認する機会としている。 ・年度始めの幼小連携協議では、参観交流した幼児の状況を踏まえ、スタートカリキュラムについて、確認及び改善に向けた検討を行っている。 ・幼児教育施設では、年度始めの幼小連携協議会の検討を受け、スタートカリキュラムの成果と課題を明らかにし、アプローチカリキュラムの見直し・改善を図っている。
成果・課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参観交流において、小学校教員に幼児の状況について見てもらうことで、幼児一人一人の実態を具体的にイメージすることができ、小学校入学後の指導の参考になっている。 ・幼小連携会議でスタートカリキュラム及びアプローチカリキュラムの見直し・改善を図ることによって、小学校への円滑な接続につながっている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より円滑に接続できるよう、年度によって違う幼児の実態を踏まえた、スタートカリキュラム及びアプローチカリキュラムに改善する必要がある。



【幼小連携協議会の様子】

地域の実情に即した幼小連携・接続の取組について

管内・市町村	上川管内 美瑛町																		
取組事項（テーマ）	複数の幼児教育施設と連携を図る取組																		
地域の実情と取組のねらい	一つの小学校に複数の幼児教育施設から入学するため、各園の保育内容を踏まえ、一人一人の幼児に応じた円滑な接続を図ることをねらいとする。																		
取組内容	<p><引継ぎ></p> <ul style="list-style-type: none"> 引継ぎは、小学校から各幼児教育施設に訪問し、指導要録等に基づき、幼児一人一人の実態を把握している。 小学校では、指導要録等の内容を入学後の児童一人一人の指導に生かすように努めている。 <p><スタートカリキュラム></p> <ul style="list-style-type: none"> スタートカリキュラム及びアプローチカリキュラムを「安心」、「成長」、「自立」の3つの視点で捉え、つながりを意識して作成している。 毎年度、小学校で見直し・改善を図ったスタートカリキュラムを各幼児教育施設に送付し、アプローチカリキュラムについて確認してもらうとともに、スタートカリキュラムについての意見をもらい、改善・検討する際の参考にしている。 <div data-bbox="927 736 1437 1055" data-label="Table"> <table border="1"> <thead> <tr> <th>幼児期</th> <th>接続</th> <th>児童期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> アプローチカリキュラム ・いろいろな友達の良いことに気づき、認め合いながら遊ぶことを楽しむ。 ・就学への期待や不安を受け止めながら、充実した生活を送れるようにする。 ・活動に楽しんで取り組みながら、自分の思ったことや感じたことを豊かに表現する。 ・10の姿を育む個々との関わり ・5領域の教育課程 ・生活リズムに合わせた一日の流れ ・遊びを通しての学び ・工夫された環境構成 </td> <td style="text-align: center;"> スタートカリキュラム つながりを大切に </td> <td> スタートカリキュラム ・一人一人が安心感を持ち新しい人間関係を築いていくことを目標とした内容の学習を進める。 ・子どもが自信をもち成長できる生活を中心とした学習を進める。 ・子どもの自立につなげる教科等の学習を進める。 ・系統的に学ぶ教育課程 ・時間割にそった一日の流れ ・教科書が主たる学び ・系統的に学ぶための環境構成 </td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">【スタートカリキュラムのイメージ】</p> <div data-bbox="927 1088 1437 1379" data-label="Table"> <table border="1"> <thead> <tr> <th>アプローチカリキュラム (どよの保育所)</th> <th>接続</th> <th>スタートカリキュラム (小学校)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 小学校に向けて生活リズムを整える ・新生活から小学校生活へ ・小学校の教育風景体験 ・新生活に対する安心感をもたせる </td> <td> 安心 ・入学に向けて心構えをたてる ・登園準備と心構え ・入学準備の心構え </td> <td> 安心 ・新しい出会いの楽しさを感じ、集団での新しい生活を楽しむ ・学校に対する安心感 ・先生や友達と仲良く・心の通い合い ・生活習慣 </td> </tr> <tr> <td> 1月 親子で一人遊び・長縄遊び(力を合わせる活動) 乳の配膳(学校生活へ慣れる) 幼馴染交流(へんまよがいずき・1日入学) </td> <td> 安心 2月 ワーク学習活動(鉛筆活動・読書活動・手紙を書く・自分の名前) こままわし(手先の運動)・跳び箱運動(全身運動)・縄跳び・中継作り グループ活動(集団遊び・製作・演劇) リズム運動(遊びを通して、体力向上)・体操教室・マド運動・外遊び </td> <td> 安心 3月 集団下校(交通安全教室) 1年生を迎える会 がんばろう!ずき(心のふれ合い) 安全な登下校(下校指導) </td> </tr> <tr> <td> 年間を通じた指導活動(清掃) </td> <td> 自立 4月 年間を通じた製作活動(教材選びからの自由発想・課題) </td> <td> 自立 5月 入学式 身体測定 視力検査 友だちのなまえ わいせつがけはじまるよ 1年生になって なかよしのき 友だちのいらいち いくつかな </td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">【各幼児教育施設のアプローチカリキュラムとスタートカリキュラムの接続】</p> </div> </div>	幼児期	接続	児童期	アプローチカリキュラム ・いろいろな友達の良いことに気づき、認め合いながら遊ぶことを楽しむ。 ・就学への期待や不安を受け止めながら、充実した生活を送れるようにする。 ・活動に楽しんで取り組みながら、自分の思ったことや感じたことを豊かに表現する。 ・10の姿を育む個々との関わり ・5領域の教育課程 ・生活リズムに合わせた一日の流れ ・遊びを通しての学び ・工夫された環境構成	スタートカリキュラム つながりを大切に	スタートカリキュラム ・一人一人が安心感を持ち新しい人間関係を築いていくことを目標とした内容の学習を進める。 ・子どもが自信をもち成長できる生活を中心とした学習を進める。 ・子どもの自立につなげる教科等の学習を進める。 ・系統的に学ぶ教育課程 ・時間割にそった一日の流れ ・教科書が主たる学び ・系統的に学ぶための環境構成	アプローチカリキュラム (どよの保育所)	接続	スタートカリキュラム (小学校)	小学校に向けて生活リズムを整える ・新生活から小学校生活へ ・小学校の教育風景体験 ・新生活に対する安心感をもたせる	安心 ・入学に向けて心構えをたてる ・登園準備と心構え ・入学準備の心構え	安心 ・新しい出会いの楽しさを感じ、集団での新しい生活を楽しむ ・学校に対する安心感 ・先生や友達と仲良く・心の通い合い ・生活習慣	1月 親子で一人遊び・長縄遊び(力を合わせる活動) 乳の配膳(学校生活へ慣れる) 幼馴染交流(へんまよがいずき・1日入学)	安心 2月 ワーク学習活動(鉛筆活動・読書活動・手紙を書く・自分の名前) こままわし(手先の運動)・跳び箱運動(全身運動)・縄跳び・中継作り グループ活動(集団遊び・製作・演劇) リズム運動(遊びを通して、体力向上)・体操教室・マド運動・外遊び	安心 3月 集団下校(交通安全教室) 1年生を迎える会 がんばろう!ずき(心のふれ合い) 安全な登下校(下校指導)	年間を通じた指導活動(清掃)	自立 4月 年間を通じた製作活動(教材選びからの自由発想・課題)	自立 5月 入学式 身体測定 視力検査 友だちのなまえ わいせつがけはじまるよ 1年生になって なかよしのき 友だちのいらいち いくつかな
幼児期	接続	児童期																	
アプローチカリキュラム ・いろいろな友達の良いことに気づき、認め合いながら遊ぶことを楽しむ。 ・就学への期待や不安を受け止めながら、充実した生活を送れるようにする。 ・活動に楽しんで取り組みながら、自分の思ったことや感じたことを豊かに表現する。 ・10の姿を育む個々との関わり ・5領域の教育課程 ・生活リズムに合わせた一日の流れ ・遊びを通しての学び ・工夫された環境構成	スタートカリキュラム つながりを大切に	スタートカリキュラム ・一人一人が安心感を持ち新しい人間関係を築いていくことを目標とした内容の学習を進める。 ・子どもが自信をもち成長できる生活を中心とした学習を進める。 ・子どもの自立につなげる教科等の学習を進める。 ・系統的に学ぶ教育課程 ・時間割にそった一日の流れ ・教科書が主たる学び ・系統的に学ぶための環境構成																	
アプローチカリキュラム (どよの保育所)	接続	スタートカリキュラム (小学校)																	
小学校に向けて生活リズムを整える ・新生活から小学校生活へ ・小学校の教育風景体験 ・新生活に対する安心感をもたせる	安心 ・入学に向けて心構えをたてる ・登園準備と心構え ・入学準備の心構え	安心 ・新しい出会いの楽しさを感じ、集団での新しい生活を楽しむ ・学校に対する安心感 ・先生や友達と仲良く・心の通い合い ・生活習慣																	
1月 親子で一人遊び・長縄遊び(力を合わせる活動) 乳の配膳(学校生活へ慣れる) 幼馴染交流(へんまよがいずき・1日入学)	安心 2月 ワーク学習活動(鉛筆活動・読書活動・手紙を書く・自分の名前) こままわし(手先の運動)・跳び箱運動(全身運動)・縄跳び・中継作り グループ活動(集団遊び・製作・演劇) リズム運動(遊びを通して、体力向上)・体操教室・マド運動・外遊び	安心 3月 集団下校(交通安全教室) 1年生を迎える会 がんばろう!ずき(心のふれ合い) 安全な登下校(下校指導)																	
年間を通じた指導活動(清掃)	自立 4月 年間を通じた製作活動(教材選びからの自由発想・課題)	自立 5月 入学式 身体測定 視力検査 友だちのなまえ わいせつがけはじまるよ 1年生になって なかよしのき 友だちのいらいち いくつかな																	
成果・課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 引継ぎについては、指導要録等が入学後の児童の実態を捉える参考となっており、学級担任の主観だけでなく、客観的に捉える一資料となっている。 各幼児教育施設の保育内容を知ることにより、入学後の指導がスムーズに行えている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後は、これまで以上に幼児の実態を具体的に把握し、円滑に小学校生活に接続できるよう児童と幼児の交流や教職員の交流の機会を増やす必要がある。 																		


地域の実情に即した幼小連携・接続の取組について

管内・市町村	留萌管内 留萌市
取組事項（テーマ）	小学校への円滑な接続を目指した交流や引継ぎ
地域の実情と取組のねらい	<p>（交流）保育園区域にある小学校との交流を図ることで、小学校を身近に感じ、入学時の不安を少しでも解消することをねらいとする。</p> <p>（引継ぎ）市内の小学校と保育園で、互いの施設を職員が見学し合うことで、幼児教育・学校教育の取組を理解し、入学までの課題や入学後の課題を確認することをねらいとする。また、「保育所児童保育要録」を提出する際に、園児一人ひとりの発達状況を伝えることで、入学後の学校生活を円滑にすることをねらいとする。</p>
取組内容	<p><交流について></p> <p>約8年前から関係機関の中で「小学校・保育園見学会」を実施している。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 11月頃に各小学校で行なう「学校祭り」に保育園児（年長）が参加。 ② 2月に保育園区域にある小学校に「学校見学」を依頼。学校内を教員が案内したり、1年生と体育館などでゲーム遊びを楽しんだりする。 <p><引継ぎについて></p> <ol style="list-style-type: none"> ① 9月頃、保育園の職員が園児の入学先の学校を訪問し、1時間程度授業風景を見学する。 ② 2月頃、小学校の職員が保育園を訪問し、1時間程度、保育風景を見学する。 ③ 3月末、小学校の教員が保育園に来園し、入学予定の園児一人一人の様子を伝えている。その際、「保育所児童保育要録」を小学校に提出し、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を活用して、子どもの成長を伝えている。
成果・課題	<p><交流について></p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学を意識した保育内容をクラス活動の中に取り入れる中で、実際に「小学校に行く」という体験は園児にとっても意識が高まるため、「学校祭り」の参加や「小学校見学」はとてもよい機会となっている。 ・小学校も、園児のお世話をしてくれたり、ゲーム遊びを企画してくれたり、園児の受け入れを「学び」として捉えており、相互においてよい交流の場となっている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児教育施設側は、小学校教育の理解のもと、就学時期の保育の在り方について、改善・充実を図るとともに、保育者及び学校教員が共通理解を図り、合同で研修を行う場を複数回設定する必要がある。 <p><引継ぎについて></p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の授業を保育者が見学することで、園児がスムーズに小学校生活を送るための保育の工夫や、内容の充実を図ることにつながった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後は、スタートカリキュラムについて相互理解が必要であることから、保育内容について小学校に理解してもらい、「遊びを通しての学び」である「幼児教育」を理解してもらう機会を設定する必要がある。 ・保育園では、設定保育の中で小学校以降に必要な様々なことへの「興味・関心」を引き出す工夫をしているため、小学校での学びと切り離すことなくスタートカリキュラムに繋げることができるよう、互いに学び合う場を設定していくことが必要である。


地域の実情に即した幼小連携・接続の取組について

管内・市町村	留萌管内 遠別町																				
取組事項（テーマ）	園児と児童が交流をもち親しみをもつ																				
地域の実情と取組のねらい	<p>小学校1校、幼児センター1園であり、施設が隣接しているため、様々な学年の児童と幼児がたくさん交流活動を実施している。</p> <p>小学校への円滑な移行を目指し、幼児センター及び小学校の指導者同士が共通認識をもつ。</p>																				
取組内容	<p><野菜作り、収穫、クッキングの実施></p> <ul style="list-style-type: none"> 第1学年と幼児が共有する畑でジャガイモなどの野菜を育て、収穫 収穫した野菜を活用して調理実習でカレーを作って試食 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>【カレーづくり】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【幼小合同収穫】</p> </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域資源を有効活用した遊び（虫取り、自然物探し、秋の宝物探し） ○ 保育参観日や小学校の授業参観日における相互参観の実施 ○ 「小学校便り」による小学校との情報共有 ○ 学童を併設していることから、各学年の1週間のスケジュールについて共通理解を図る場の設定 ○ 小学校第5学年との交流 <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児教育施設訪問による交流の年間計画の確立 <div style="text-align: right;">  <p>【幼児と第5学年の交流】</p> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>第Ⅰ期（4月～6月）</th> <th>第Ⅱ期（7月～9月）</th> <th>第Ⅲ期（10月～12月）</th> <th>第Ⅳ期（1月～3月）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交流内容</td> <td>○畑作り じゃが芋、玉ねぎ、人参植え 草取り</td> <td>○水遊び 色水、プール、泥遊び、シャボン玉 ○夏の野原（虫取り、道具遊び） ○収穫</td> <td>○クッキング カレーライス作り ○「秋のたからものであそぼう」</td> <td>○1年生とゲーム遊び ○5年生と遊ぼう 1回目 ○5年生と遊ぼう 2回目</td> </tr> <tr> <td>ねらい</td> <td>・1年生と関わりをもち、作物の成長に期待をしながら一緒に植えることを楽しむ。 ・1年間ペアを組む1年生を知り、親しみをもち小学校の学習に関心をもつ。</td> <td>・水遊びの楽しさを共有し、親しみを深める。 ・一緒に探検しながら虫や草などいろいろな自然物に興味、関心をもつ。 ・一緒に作業し、収穫を喜びあう</td> <td>・1年生と一緒に収穫した野菜を使って1年生の姿を真似たり、協力しながらカレー作りをする。 ・1年生が作成したものに興味と関心をもち、一緒に楽しく遊ぶ。</td> <td>・1年生、5年生と一緒に過ごし、小学校入学に期待をもつ。 ・小学校へ行ったらお世話してくれるペアの5年生を知り、安心感をもつ。</td> </tr> <tr> <td>配慮事項</td> <td>・1年生との交流では1年間ペアを組む、一緒に活動する ・関わりがもてるよう言葉かけや仲立ち</td> <td>・互いに開放感を味わいながら楽しむ ・池、沼などがあるので安全面に配慮 ・収穫の作業を互いに協力したり、喜び合えるような環境づくり</td> <td>・1年生がどのようにしているのか気づいたり、真似てみようと思わせもちカレー作りができる言葉かけ ・1年生と言葉交わしながら楽しめるよう援助 ・園に戻ってから真似ようとする気持ち</td> <td>・1年生と一緒にルールを守りゲームを楽しむ ・5年生は1年生になったときの6年生給食では同じ席に座れるよう配慮</td> </tr> </tbody> </table>		第Ⅰ期（4月～6月）	第Ⅱ期（7月～9月）	第Ⅲ期（10月～12月）	第Ⅳ期（1月～3月）	交流内容	○畑作り じゃが芋、玉ねぎ、人参植え 草取り	○水遊び 色水、プール、泥遊び、シャボン玉 ○夏の野原（虫取り、道具遊び） ○収穫	○クッキング カレーライス作り ○「秋のたからものであそぼう」	○1年生とゲーム遊び ○5年生と遊ぼう 1回目 ○5年生と遊ぼう 2回目	ねらい	・1年生と関わりをもち、作物の成長に期待をしながら一緒に植えることを楽しむ。 ・1年間ペアを組む1年生を知り、親しみをもち小学校の学習に関心をもつ。	・水遊びの楽しさを共有し、親しみを深める。 ・一緒に探検しながら虫や草などいろいろな自然物に興味、関心をもつ。 ・一緒に作業し、収穫を喜びあう	・1年生と一緒に収穫した野菜を使って1年生の姿を真似たり、協力しながらカレー作りをする。 ・1年生が作成したものに興味と関心をもち、一緒に楽しく遊ぶ。	・1年生、5年生と一緒に過ごし、小学校入学に期待をもつ。 ・小学校へ行ったらお世話してくれるペアの5年生を知り、安心感をもつ。	配慮事項	・1年生との交流では1年間ペアを組む、一緒に活動する ・関わりがもてるよう言葉かけや仲立ち	・互いに開放感を味わいながら楽しむ ・池、沼などがあるので安全面に配慮 ・収穫の作業を互いに協力したり、喜び合えるような環境づくり	・1年生がどのようにしているのか気づいたり、真似てみようと思わせもちカレー作りができる言葉かけ ・1年生と言葉交わしながら楽しめるよう援助 ・園に戻ってから真似ようとする気持ち	・1年生と一緒にルールを守りゲームを楽しむ ・5年生は1年生になったときの6年生給食では同じ席に座れるよう配慮
	第Ⅰ期（4月～6月）	第Ⅱ期（7月～9月）	第Ⅲ期（10月～12月）	第Ⅳ期（1月～3月）																	
交流内容	○畑作り じゃが芋、玉ねぎ、人参植え 草取り	○水遊び 色水、プール、泥遊び、シャボン玉 ○夏の野原（虫取り、道具遊び） ○収穫	○クッキング カレーライス作り ○「秋のたからものであそぼう」	○1年生とゲーム遊び ○5年生と遊ぼう 1回目 ○5年生と遊ぼう 2回目																	
ねらい	・1年生と関わりをもち、作物の成長に期待をしながら一緒に植えることを楽しむ。 ・1年間ペアを組む1年生を知り、親しみをもち小学校の学習に関心をもつ。	・水遊びの楽しさを共有し、親しみを深める。 ・一緒に探検しながら虫や草などいろいろな自然物に興味、関心をもつ。 ・一緒に作業し、収穫を喜びあう	・1年生と一緒に収穫した野菜を使って1年生の姿を真似たり、協力しながらカレー作りをする。 ・1年生が作成したものに興味と関心をもち、一緒に楽しく遊ぶ。	・1年生、5年生と一緒に過ごし、小学校入学に期待をもつ。 ・小学校へ行ったらお世話してくれるペアの5年生を知り、安心感をもつ。																	
配慮事項	・1年生との交流では1年間ペアを組む、一緒に活動する ・関わりがもてるよう言葉かけや仲立ち	・互いに開放感を味わいながら楽しむ ・池、沼などがあるので安全面に配慮 ・収穫の作業を互いに協力したり、喜び合えるような環境づくり	・1年生がどのようにしているのか気づいたり、真似てみようと思わせもちカレー作りができる言葉かけ ・1年生と言葉交わしながら楽しめるよう援助 ・園に戻ってから真似ようとする気持ち	・1年生と一緒にルールを守りゲームを楽しむ ・5年生は1年生になったときの6年生給食では同じ席に座れるよう配慮																	
成果・課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼小連携のねらいである「小学校へのスムーズな移行」については、小学校も幼児センターも町内に1か所であること、建物が隣接していることから円滑な移行がある程度達成できている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後の課題として、様々な取組の日程調整の難しさがあげられる。お互いのできる範囲内という共通理解の下、交流内容の見直しや充実を図る必要がある。 																				


地域の実情に即した幼小連携・接続の取組について

管内・市町村	留萌管内 増毛町
取組事項（テーマ）	小学校への円滑な接続を見通した交流活動
地域の実情と取組のねらい	<p>小学校への就学をむかえる園児が、小学校への訪問や給食を体験することにより、小学校での生活の様子を知り、小学校への円滑な接続が図れるようにすることを目的とする。</p> <p>認定こども園から、小・中学校まで各1校のみであるため、友人関係が中学校まで変化しない特徴がある。</p>
取組内容	<p><給食体験の実施></p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校を訪問し、低学年の児童と交流した後、給食体験を行った。また、栄養教諭による食育に関する授業に参加し、小学校での学習への興味や関心を高めた。 <p><1日体験入学の実施></p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者への小学校入学に関する説明を行うと同時に、参加した園児が、小学校の教室で児童らとともに授業を受けた。本町では、保護者の負担軽減を目的として毎年、ランドセルに代わるナップサックを新入学児童にプレゼントしており、一日体験入学時に園児一人一人にナップサックの贈呈を行っている。 <p>このような取組により、園児は小学校入学への不安を軽減させ、期待や安心感をもつことができ、小学校への円滑な接続を図ることにつながっている。</p>  <p style="text-align: center;">【一日体験入学の様子】</p>
成果・課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校との積極的な交流の場を意図的に設定し、お兄さんやお姉さんとの交流を促したことで、園児の安心感を高めることができ、小学校への円滑な接続を図ることにつながることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 保育教諭と小学校教職員で情報共有するための時間を十分に確保できるよう工夫する必要がある。

地域の実情に即した幼小連携・接続の取組について

管内・市町村	留萌管内 小平町（小平地区）
取組事項（テーマ）	小学校との交流を通して引継ぎの充実を図る
地域の実情と取組のねらい	<p>本園卒園後は、全園児が域内の小学校に入学するため、小学校の環境や雰囲気、児童との交流を経験し、小学校へ円滑に移行できるようにするとともに、小学校教員が園児の様子を知る機会とする。</p> <p>子どもたちの育ちや学びを支える情報共有の機会として、小学校の教務担当や学級担任と指導要録や園児の様子が分かる参考資料等をもとに共通理解を図り、園児のスムーズな就学に向けた引継ぎとなるようにする。</p>
取組内容	<p><小学校との交流></p> <ul style="list-style-type: none"> 交流は「5歳児園外保育『小学校で遊ぼう!』」として教育課程や年間指導計画に位置付け、毎年10月に実施しており、校長室での自己紹介や低学年の児童の授業を見学するなどの交流を行っている。 園において基本的な実施計画案を作成し、園と小学校の担当教員との打合せで内容を検討し、小学校に負担のない日程で実施している。 例年、域内の小学校で縦割りの活動や地域とのつながりを目的とした児童主体の行事「レインボー祭り」の招待状を小学校の低学年児童が園児に届けている。園児は保護者とともに参加している。  <p style="text-align: center;">【幼児の学校探検】</p> <p><引継ぎ></p> <ul style="list-style-type: none"> 3月末から4月の入学前までに日程調整して実施している。 「特別な支援を要する園児」については、個別の教育支援計画を基に、関係機関との連携の経過や状況等を伝えている。また、友達関係や保護者の様子、健康状態（アレルギー等）、園での具体的な育ちの姿、保育者の援助の過程を伝えている。 年度初めに、園の教育課程を小学校にも配付し、本園で取り組む幼児教育の考え方や具体的な取組等について共通理解を図っている。
成果・課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校への憧れや期待が高まり、交流をきっかけとした遊びや活動につながった。また、小学校への入学に向けて意欲的な言葉が園児から聞かれるようになった。 引継ぎの目的やポイントを明確化することで、園と小学校が、情報共有したいことが明確になり、園児へのきめ細やかな引継ぎが可能となった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 担当者が年度により変わる場合があるため、形式的な打合せではなく、実施のねらいを小学校と共有し、内容の充実を図っていく必要がある。 引継ぎが担当教員のみでの把握にとどまることがないよう、資料による形式的な引継ぎとせず、子どもの育ちや実態を踏まえ「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を活用して子どもの具体の姿を共有する必要がある。

地域の実情に即した幼小連携・接続の取組について

管内・市町村	留萌管内 小平町（鬼鹿地区）
取組事項（テーマ）	小学校との交流を通じた円滑な接続について
地域の実情と取組のねらい	<p>幼稚園、小学校ともに小規模であり、卒園後は、全園児が域内の小学校に入学する。運動会を単独で開催することが困難であることから「幼小合同運動会」として開催し、園児と児童との交流の場としている。</p> <p>散歩や園外保育の中で、意図的に小学校の活動を園児に見せる場面を設定したり、卒園した子どもとの触れ合いをもたせたりすることで、小学校へ円滑な接続を図っている。</p>
取組内容	<p><幼小合同運動会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校が事務局を担当し、開催予定日の2か月前から、5～6回程度の幼小打合せ会議を実施した。 ・運動会のプログラム構成は、幼稚園の単独種目を3種目程度、小学校の単独種目を4種目程度とし、園児との交流を深める観点から、幼小の合同種目として玉入れや紅白リレーを実施した。  <p style="text-align: center;">【幼小合同運動会】</p> <p><交流活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校との交流について、教育課程や年間指導計画に位置付け、「5歳児園外保育『小学校で遊ぼう！』」を年間2回実施している。 ・事前に幼稚園で計画案を作成し、体験させたいことや配慮していること、幼児の実態等を伝え、円滑な接続を考慮した小学校側からの助言をもとに内容の充実を図っている。 ・1回目の交流では、小学校の休み時間に合わせた日程で実施し、校長室や職員室で自己紹介後、体育館で児童と遊びの交流、低学年の授業見学及び参加、校内見学を実施した。 ・2回目は、給食時間・昼休みに合わせた日程とし、給食準備から児童と一緒に活動し、清掃体験や昼休みの遊びを通して、小学校生活の仕方や時間の流れがあることを体験させ、小学校への円滑な接続を目指した。
成果・課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園及び小学校でのそれぞれの目的を達成することができ、幼小連携を深める有意義な活動とすることができた。 ・園児は、小学校への憧れや期待が高まり、交流をきっかけとして遊びや活動などに工夫や変化が見られるようになり、年下の友だちへ優しく接する姿や思いやりの姿が見られるようになった。 ・子ども一人一人の実態（育ち）や保育者の支援の場面を小学校側に知ってもらえる機会となった。 ・就学への不安感が強い園児は、安心や喜びの姿へと変容し、落ち着きに欠けていたり、小学校に兄弟がいて慣れていたりする園児は、児童を真似て頑張る姿へと変容した。また、保護者も就学への安心感につながった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、さらなる内容の充実を図るために、プログラム構成や進行方法などの打合せについては、前年度の成果と課題を明確にして具体的な内容を検討する場としていく必要がある。